



教育目標

- よく考え学ぶ人
- 心豊かな人
- じょうぶな人

児童生徒一人一人の能力・特性に応じ、自立と社会参加を目指して、いきいきと生きる人間を育てる。

努力目標

- (1) 教育的ニーズや実態から学習上又は生活上の困難の背景を分析し、中心となる課題についてケース会議等を活用して検討し、各児童生徒の自立を目指した授業づくりを実践する。
- (2) 各教科等を合わせた指導において、主体的に取り組む力をはぐくむために「知識・理解」や「技能」を活用して、児童生徒の「思考・判断・表現」を重視した指導に努める。

思考・判断・表現する授業づくり

児童生徒が「思考」「判断」し主体的に「表現」する授業づくりを進めます。

児童生徒が学ぶ姿（行動や言動）を「思考」し「判断」した結果の「表現」と捉え、主体的に「表現」する授業づくりを進めます。

＜教科指導の充実＞

○学習指導案に評価規準を位置づけ、目標と評価の観点を明確にすることで、教師間の共通理解を深め児童生徒の目標達成を目指します。

＜各教科等を合わせた指導＞

○「できる状況づくり」という観点から授業を評価し改善を繰り返すことで、児童生徒が主体的に学ぶ姿を目指します。

「見える学校」

進路実現・自己実現を目指して

進路指導や交流及び共同学習の充実を図り、生きる力をはぐくみます。

＜進路指導の充実＞

○様々な進路に関する情報を保護者や関係機関と共有し、連携を密にして取り組んでいきます。
○一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を基に小学段階から段階的な進路指導を行い、主体的に進路を考える力を育てます。

＜体験的学習の充実＞

○授業で学んだことを基に、校外学習や交流及び共同学習で実践し、日々の生活の中でより良く人とかわる力を育てます。
○「風と雲のまつり」等の行事や学校公開を通して地域の方々との触れ合いを大切にします。

＜社会資源の活用＞

○地域の人材や施設など、社会資源の活用を図ります。

「安心で安全な学校」

地域におけるネットワークづくり

チームでつなぐ地域支援センターを目指します。

＜地域支援センターの充実＞

○地域支援センター「かぜくも」は各関係機関との連携を生かしながら、地域に住むお子さんの相談・支援の充実に向け取り組めます。
○次の3つの柱で支援に努めます。

- ① 幼・保・小・中・高等学校への支援（出かける支援、ミニセミナー）
- ② 早期教育の充実（かぜくもひろば、かぜくも教室、かぜくも相談室）
- ③ 地域につなげる支援

○本校職員一人一人がチームの一員として、ニーズに応じた相談・支援にあたります。

＜情報の発信＞

○ホームページの更新に努め、地域支援センターの最新情報を発信します。

「地域で学ぶ学校」

～「見える」・「安心で安全な」・「地域で学ぶ」学校に～

- I 教育活動への理解と期待を得るために、教職員一同、「丁寧」「笑顔」を大切にして取り組んでまいります。
- II 家庭や地域社会に見える教育課程、見える授業実践に努め、児童生徒の学びに向かう力が一層はぐまれるように取り組んでまいります。
- III 共生社会の形成に向けて、地域支援の充実及び交流から共同学習に向けて積極的に取り組んでまいります。特に、児童生徒一人一人に即して地域（小・中学校、高等学校を含む）で学ぶ場づくりと実践に取り組んでいきます。
- IV 早期からの進路指導の充実や進路実現に向けた関係機関との情報共有・連携に努め、地域社会との接続・移行に取り組んでまいります。
- V 児童生徒が安心・安全な学校生活が送れるよう家庭、関係機関等との一層の連携協力を努めてまいります。

校長 齋藤 秀美

